

(一社) 甲賀市国際交流協会 2024 年度 甲賀市多文化共生センターにおける取組

2024 年 6 月 21 日 (金) 18 時～

みなくるプラザ研修室にて

1. 相談窓口業務

「外国人相談窓口運営」「相談員研修」「相談内容の蓄積とデータ化」「関係機関との連携強化」

<目的>

言葉の障壁に加えて、日本の社会制度や生活習慣に不慣れであり、日常生活に多くの不安を抱えているが、どこに相談すればよいかわからなという外国人市民が、相談しやすく、いつもの暮らしを支えるために外国人相談窓口を設置し、誰もが安心安全に暮らすための相談体制を構築する。

<目標>

甲賀市で多様な言語で対応できる体制、相談しやすい環境が整備されることで、外国市民の抱えている課題や実態が把握でき、外国人市民に必要な情報が伝達され、ライフステージに合った切れ目のない支援体制・多機関連携体制が構築され強化される。

<実施場所>

甲賀市多文化共生センター他

<実施内容>

- ・アドバイザーによる業務に関する計画作成および指導等（4 月～随時）
- ・相談窓口運営開始（5 月～） 6 月 21 日現在相談件数：34 件
- ・体制の見直し、相談内容のとりまとめ、相談時のルールの検討、手続き方法や関係機関（つなぎ先）等の情報収集
- ・協会職員と市相談員の情報交換、相談時の対応研修（4/18、6/18～ 2 回実施）
- ・専門機関との情報交換（5/28 ベトナム人材関係、5/30 弁護士会、6/19 社会福祉協議会等）
- ・地域市民センター窓口対応職員へのヒアリング（6/12 甲賀、6/13 甲南、6/6 信楽）
- ・プラットフォーム（相談専用アプリ）運用検討

<今後の予定>

- ・多言語対応アルバイト雇用（ベトナム語、中国語、タガログ語・英語）
- ・定例会議（隔週 1 回）
- ・研修（随時：アルバイト・職員）
- ・相談員の経験を蓄積する（事例集）
- ・相談者からのフィードバック（利用者の意見を取り入れ環境整備につとめる）
- ・ターゲットを絞ったイベント（交流会）の開催（年 2 回）
- ・出張相談会の開催 旧 4 町（甲南町、信楽町、甲賀町、土山町）×2 回
- ・実態調査の実施と分析（例：ベトナム出身で技人国ビザを持つ方を対象とした調査）
- ・関係機関の模索、他機関へのアプローチ
- ・連携事例、関連機関の取りまとめ
- ・相談窓口サービス情報の発信（最低月 1 回）
- ・発信内容の見直し・改善

- ・蓄積されたデータ分析および課題の可視化(報告書)
- ・プラットフォーム登録者に向けた情報発信（必要に応じて）
- ・外国人市民の居住地に合わせて、オンライン、電話、出張相談、予約制などの手法を検討する
- ・次年度関連事業および予算の検討
- ・報告書の作成

2. 日本語学習教室業務

- ①「はじめての日本語教室」 ②「企業等への日本語講師派遣と講師登録」 ③「日本語ボランティア養成・育成講座」 ④日本語関係者ネットワーク会議

＜目的＞

日本語学習が必要な外国人市民が、生活に必要な日本語を身につけ、地域でのコミュニケーションが活性化し、多様性を認め合いながら、外国人市民と日本人市民が共生する地域をつくるために、日本語教室を開催し、甲賀市の地域経済を支える人たちの日本語学習を支援する。

＜目標＞

外国人市民の日本語能力が向上することで、地域でのコミュニケーションが活性化し、多様性を認め合いながら、外国人市民と日本人市民が共生する地域がつけられる。また、企業内でのコミュニケーションが活性化し、外国人労働者と日本人労働者の相互理解が深まることで、生産性が向上し、労災や人権差別等が減少する。

＜実施場所＞

- ①③④甲賀市多文化共生センターもしくは②企業内

＜実施内容＞

- ①16歳以上の甲賀市在住在勤在学でゼロ初級もしくは日本語を勉強したことがない人を対象とした「いろいろ」と滋賀県作成の副教材を使用した個別または教室型の日本語教室（90分×25回程度）
（7月より試行 6月18日時点3名申し込み）
- ②市内企業に在勤の外国人従業員を対象にした、企業のニーズに合わせた日本語学習の支援（協会の法人会員を対象に実施予定）

＜今後の予定＞

- ・試行の日本語教室実施後、ニーズ調査および受講後アンケート（試行を踏まえて10月以降のカリキュラムや教材の内容を検討）
- ・オンラインの検討 ・オンライン交流会を通じたニーズ調査
- ・日本語ゼロ初級者への日本語指導ができる日本語講師の登録と派遣
- ・法人企業への周知と派遣希望企業へのニーズ調査
- ・企業と日本語教師のマッチング、企業への日本語講師の紹介と日本語教室開始
- ・新規日本語ボランティア養成講座 と既存のボランティアのスキルアップ講座の開催
- ・既存のボランティア教室と日本語学習支援関係者によるネットワーク会議 年間2回
- ・活動助成金制度の検討
- ・次年度関連事業および予算の検討
- ・報告書の作成

※その他 既存のボランティアによる日本語教室は、継続して、毎週月曜日、隔週土曜日に開催しており、ボランティアとの意見交換、実態などをヒアリングしている

3. 外国にルーツをもつ子どもの学習支援

①放課後学習支援 ②高校進学支援 ③進路ガイダンスのサポート ④地域における学習会のサポート

<目的>

外国につながりをもつ子どもたちが、言葉や文化の違いで不利益を受けることなく、それらを強みにしながら、甲賀市はもちろん社会で活躍する将来の選択肢を増やし、社会で活躍できる人財をつくる

<目標>

- ①外国人児童生徒が学習習慣をつけ、宿題を確実に提出できるようにし、学習の遅れを防ぐ。
- ②日本語指導が必要な生徒が受験や高校生活に必要な日本語および学習を身につけ、また、どこにも所属していない超過年齢の生徒が毎日センターに通うことにより、規則正しい生活を送り、社会との関わりを持てるようにする。
- ③ガイダンスに参加する児童、生徒、保護者にたくさん参加してもらい、高校進学等に関する意識・実態調査に協力してもらえよう運営のサポートをする
- ④区や自治会への加入・未加入に関わらず、地域の人たちと外国につながる子どもや保護者が顔の見える関係を築き、子どもの学習機会を通じて外国人住民と地域住民と一緒に地域をつくろうとする意識を高める。

<実施内容>

- ①日本語指導が必要な児童生徒、家庭学習が難しい児童生徒、帰宅後、自力もしくは保護者の送迎によりセンターに来られる児童生徒を対象とした宿題のサポート、自主学習の見守り（7月～スタート予定 火曜～金曜 16時～18時および夏休み・冬休み集中学習 参加費無料）（6/12 市内小中教頭会にて説明）
 - ②超過年齢でどの学校にも所属できていない生徒を対象とした高校受験対策および受験等にかかる手続き等のサポート（オンデマンド 火曜～金曜 10時～12時 参加費 1か月 5,000円～）
 - ③10/13に開催される進路ガイダンスの運営サポートおよび日本語支援が必要な児童生徒等を対象とした高校進学に関するニーズ調査
 - ④地域における外国人児童生徒等の学習会開催のサポート（6/8 伴谷地区での協議出席）
 - ⑤かわせみ教室と母語支援員の連携・情報交換
- ・その他、入学する際に必要な制服などのお金のこと等の事前説明会の開催等を検討

<実施場所>

①②甲賀市多文化共生センター ③あいこうか市民ホール ④伴谷地区 4か所（菅谷、広野台、第4・桜が丘、第3水口台）

<今後の予定>

- ・各学校等に放課後学習支援の児童生徒募集チラシ配布
- ・放課後学習の指導者（3名程度）の募集もしくは声掛け
- ・指導者のオリエンテーション
- ・夏休み・冬休み集中学習の日程検討
- ・長期休み学習会の高校生ボランティアの協力依頼
- ・学齢期を過ぎた子供の転入者への案内作成・市民課に設置
- ・外国人児童生徒の実態調査および学習会受講後のアンケートの内容検討
- ・関係者の連絡会
- ・ガイダンス開催周知協力

- ・次年度関連事業および予算の検討
- ・報告書の作成

4. 多文化防災

＜目的＞

住民が顔の見える関係を築き、それぞれが自助、共助、公助の力を発揮し、災害時に誰一人取り残さない地域をつくる

＜目標＞

- ・外国人市民の防災知識、ストック情報を蓄積し、自助力を高める
- ・外国人市民と日本人市民の接触場面を増やし、地域の共助力を高める
- ・甲賀市との協定、設置運営マニュアルを見直すとともに、外部機関と連携し、国際交流協会の公助力を高める
- ・外国人防災士やキーパーソンを養成・育成し、多言語で防災を啓発し、外国人市民が発災時も落ち着いて対応できるようにする
- ・地域住民が顔の見える関係を築き、関係者及び機関がお互いの持ち味を生かしながら多様性に配慮した避難所運営を行えるようにする

＜実施内容＞

- ・関係機関との情報交換（6/13 社協との連携について意見交換）
- ・外国人市民向け防災教室（6/15 マイタイムラインを活用した風水害に関する「やさしい日本語による防災教室」開催）、災害図上訓練 DIG 等の開催

＜今後の予定＞

- ・6/25 これまでの多文化防災活動のふりかえり
- ・7/4 地域共生・多文化共生センターと災害時の避難行動要支援者名簿についての協議
- ・甲賀市総合防災訓練や地域の防災訓練への参加
- ・グローバルセミナー「三重県の災害時外国人住民支援の取り組み、つたわるキットの活用」をテーマに開催（日程未定）
- ・災害時多言語情報センター設置訓練
- ・災害時多言語情報センター設置運営に関する協定およびマニュアルの改定
- ・外国人市民向け多文化防災マニュアル（案）の作成
- ・甲賀市社会福祉協議会との連携事業

5. その他

「顔の見える関係づくり」のために、多様な人たちが活躍し、交流できる場、および相談窓口の PR をかねた多文化カフェ等の運営